



## ニュース 18号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged  
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

### 3 保健所他での研修会を終えて

9月には紋別保健所、10月にはALS協会主催の「難病コミュニケーション支援シンポジウム」、帯広保健所での研修、11月にはパソコンボランティアプラザ室蘭主催の勉強会、12月には留萌保健所での研修会に呼んでいただき、それぞれで講演と機器展示を行いました。

どの会場も熱心な受講者の皆さんが集まり、マイトビー、伝の心、レッツチャットなどの機器に触れていただきました。最近、患者のコミュニケーション支援という分野に多くの関心が寄せられるようになってきていると感じています。とりわけ保健所主催の研修会には、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士、などの皆さんが参加されて、ご自分が担当している患者さんへの具体的な支援を検討されていることが多く、私たちの活動を参考にしていただけるとは嬉しいことです。



紋別保健所研修会



室蘭での研修会



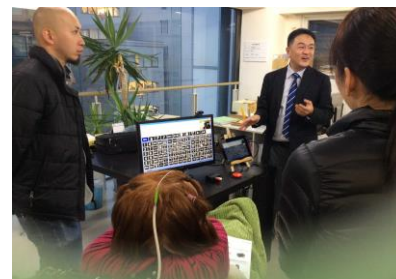
150名参加の帯広保健所

### 活動報告会のご案内

2015年2月21日(土)午後、北海道難病センター(中央区南4西10)において2014年度活動報告会を行います。ゲストスピーカーは大阪で患者支援を行っているお二人をお招きします。Koba レディースクリニックの作業療法士である小林貴代さんには「コミュニケーション支援におけるセラピストの関わり」(仮題)、ALS協会近畿ブロックで患者支援をされている久住純司さんには「コミュニケーションを支える遠隔支援～遠隔支援の普及と実用性」と題してお話いただきます。意思伝達支援機器や各種スイッチの展示も行います。多くの皆様のご来場をお待ちしています。(この事業は生活クラブ福祉基金の助成で行います)

## 意思伝達支援機器「話想」

意思伝達支援機器「話想（はなそう）」のデモンストレーションを事務所で行っていただきました。一つの文字盤の中ですべての操作ができ、文字盤を切り替える手間がいらぬというのが大きな特徴のようです。また支援者が設定する際には、ひとつの階層しかないので分かりやすいという印象を受けました。さまざまな意思伝達支援機器の「良いところ」を取り入れているそうです。タブレットがついているので、外出にも使えそうです。北海道でもいろいろな方に試していただいて、感想をお聞きしたいと思います。デモ機はまだありませんが、導入をご検討の方にはダブル技研様から、1週間程度の貸し出しを受けられるようですので、iCare ほっかいどうまでご連絡下さい。



## 道新社会福祉振興基金「声を残すことの挑戦」

道新社会福祉基金から助成いただいた「声を残すことの挑戦」は、協力していただけるボランティアさんを募集することから始まり、10月から「声の採取」と「編集」プロジェクトの研修会が始まりました。現在2名の患者さんにご協力いただいて録音が進んでいます。紙をめくる音が入ってしまったり録り直しになるなどの失敗もありましたが、3月までには事業のまとめをする予定です。

このプロジェクトは、声が出なくなる前の患者さんに声を残してもらい、声が出なくなったときにも自分の声で会話ができるソフト「マイボイス」の検証をすることが目的です。

## 販売を始めます ダブリンス（除菌・消臭剤）

携帯用（30ml） 365 円  
500ml 1,728 円



ダブリンスは、従来型の塩素剤と比較して約3倍の除菌力があり、アルコールでは対応できないウイルス・雑菌・カビも撃退し、花粉症にも有効です。水道水と同等レベルの安全性を実現することに成功しました。

\* 生ごみの雑菌繁殖・悪臭対策に \* 気になる靴のニオイに \* タバコ等のニオイに \* オムツの除菌・消臭に \* 便座の除菌・トイレの悪臭に  
\* 車内の消臭除菌に \* キッチン・洗面台に・お風呂のカビ対策に  
\* マスクにスプレーで感染対策を \* ペットの気になるニオイにも

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 [jimu@icare-h.org](mailto:jimu@icare-h.org) <http://icare-h.org/>